

令和5年度第4回定例理事会議事録

日時：令和5年8月5日（土） 14：30～16：55

場所：奈良県理学療法士協会事務所（橿原市商工経済会館）

次の理事・監事はWEB会議システム（インターネット回線を使用した音声と映像を即時に出席者へ伝達するシステム：ZOOM）により、次の場所にて参加した。

（自宅）北村哲郎、江村修二、箕輪希予志

議長：増田崇

出席者：理事9名（定足数5名） 監事2名 書記1名

【理事】増田崇、西田宗幹、田平一行、和田善行、松村明子、北村哲郎、中村貴信、堀義範、池田耕二

【監事】江村修二、箕輪希予志

【書記】四方絵里華

議事録署名人：増田崇、江村修二、箕輪希予志

欠席理事：河村隆史

欠席監事：なし

- 議事：
1. 会長行動報告
 2. 会員異動承認
 3. 各局・部・委員会報告
 4. PT・OT・ST3団体役員会議報告
 5. その他

（なら介護の日協力金、糖尿病学会会議参加、レジリエンスフォーラム）

承認事項

1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. なら介護の日協力金について

1. 会長行動報告（増田会長）

- 6／21 医療マネジメント学会奈良支部会議
- ／21 全国士会長意見交換会
- ／26 HP（キュービット）会議
- ／27 日本美容創生 金山氏と会議
- ／27 スマホアプリ（ヤプリ）説明会

- 7 / 1 事務員採用面接
- / 2 新プロ講師
- / 5 地域リハコース打ち合わせ
- / 9 POST 3 団体役員会議 (欠席)
- / 9 理学療法フェスタ (欠席)
- / 9 ニューレジリエンスフォーラム参加
- / 18 奈良 JRAT 会議
- / 25 調整会議
- / 29 政策委員会 研修会 司会
- / 29 田中昌史氏と会合
- / 30 奈良学会参加
- 8 / 5 第 4 回理事会

承認 以上の会長行動について増田会長より報告がなされ、理事全員に承認された。

承認 業務執行理事行動報告 (西田副会長、田平副会長)

業務執行理事から業務の報告がなされ、理事全員に承認された。

2. 会員異動承認

承認 令和 5 年 6 月 1 7 日から令和 5 年 8 月 4 日までの会員異動が、理事全員に承認された。

3. 各局・部・委員会報告

1) 奈良県からの補助金について (西田副会長)

報告 交付予定であり、補助金を使用し研修会を開催予定である。

2) 広報局 (松村理事)

報告 (会誌部) 会誌 29 号を発刊・郵送した。今後、どの範囲まで発送するかを検討。理事・監事のみか部長・委員長までにするか。2 パターンの見積もりを出してもらおう。

会誌の記事で男性の育休について調査・掲載したかったが、今号は難しかったので次号に回す。美容創生株式会社の金山氏に事業紹介などの原稿依頼の提案あり。

報告 (HP 管理部) 現在、配信システムに不具合あり。新システムとなり 8 月中に導入予定。新システムになるとお知らせメールを再登録する必要がある。QR コードを掲載したカードを作成予定で、費用は 5000 円程度 (予算内)。

HP への掲載依頼について、個人で HP 管理部に問い合わせするのではなく各局で

まとめてほしい（各局で掲載内容の審議も兼ねる）と部内より意見が挙がった。具体的にどのように進めていくか、HP 管理部で運用方法を検討。江村監事より現在の運用方法のメリットも議論するべきであると助言があった。

日理協より JPTA アプリでの通知が今後月 2 回に増える予定だが、支障ないかと問い合わせあり。奈良県はアプリを通しての通知は行っていない旨を報告。今後、全国向けの通知などの際に利用することも検討。

3) 事務局（和田理事）

報告 以下の報告がなされた。

- ・公益法人研修会に中川財務部長と参加予定。
- ・8/2 6 近畿ブロック事務局長会議、9/10 都道府県事務局長会議
- ・事務員増員と勤務形態について
- ・新事務所、理事の登記完了報告

4) 災害対策委員会（西田副会長）

報告 9/3 の研修会について概要説明。

北村理事より、奈良 JRAT 会議報告あり。県の防災訓練を 10/22 に開催予定。

5) 高齢労働者の就労支援に関する事業説明会（西田副会長）

報告 6/7 に上記説明会あり。概要報告がなされた。

- ・労働災害防止について（厚労省より）
- ・健康保持の増進について（スポーツ庁より）
- ・事業助成金について
- ・宮崎県がタクシー運転手に対する腰痛予防事業を展開予定。

当会で行う場合はシニア会員の登用や美容業界への参入（日本美容創生株式会社との連携）も検討する。

6) 奈良学会準備委員会（田平副会長）

報告 32 回学会は無事に終了した。予算内で進められた。対面のみで 200 名程度参加。

研修理学療法士のポイント付与にならないので、生涯学習部より日理協に提起している。

33 回学会は岡田大会長と中村潤二準備委員長となる。今年度の予算計上していなかったため、早急に計上するように伝えた。

34 回の大会長・準備委員長は未定。

7) ブロック活動推進委員会（和田理事）

報告 ブロック別研修会の企画について井上委員長より提案あり。趣旨や内容など、詳細に企画してもらう。

4. PT・OT・ST 3 団体役員会議報告（和田理事）

報告 OT士会より 5 か年戦略について報告があった。奈良県がロールモデルとなっている。次回 1/20 は、当会事務所で開催予定。

5. その他

1) 日本美容創生株式会社との事業について（増田会長、堀理事）

報告 ウィメンズヘルスに関して取り組んでいく。きよ女性クリニック 清塚氏と畿央大学 梶原氏に協力を依頼。

2) ニューレジリエンスフォーラム（奈良県大会）について（増田会長）

報告 『災害に強い社会を作る』をテーマとして創設された。増田会長・田平副会長・和田理事・河村理事が出席し、概要報告がなされた。増田会長も呼びかけ人の一人となっており、理事・監事が賛同者となる。

3) 政策委員会（増田会長）

報告 7/29 研修会開催され、概要報告がなされた。100 名程度の参加があった。

自民党より衆院選における奈良 2 区の推薦依頼あり。第 2 区担当者は西田理事となった。第 1 区担当者は松村理事の予定。

4) なら介護の日協力金について（松村理事）

報告 今年度は、相談コーナーは設置せず、展示コーナーのみとなった。8 月末の実行委員会会議で提案。実行委員より負担金の依頼あり。例年 3 口 6 万。イベント自体の目的や成果が見えにくいとの意見が挙げられた。

承認 審議の結果、規模縮小に伴い 1 口 2 万円の負担金とすることで、理事全員に承認された。

5) 糖尿病学会参加費について（和田理事）

報告 学会より、情報交換会参加について学会参加費が必要で、当会で費用負担の依頼あり。学会参加費は自己負担とする。情報交換会は県士会代表として出席するので、交通費は当会負担でも可能。

6) ベトナム リハビリテーション人材プログラム導入に関する案件化調査について

（中村理事）

報告 上記について、JICA と案件化調査中で 6 月にベトナム訪問した。概要説明がなされた。今後、現地のチャビン大学・JICA の関係者が奈良県に視察に来られる。当会に挨拶希望があったが難しいため、奈良県総合医療センターや畿央大学に訪問予定。今後、日理協の国際事業部にも協力要請を検討する。

以上